

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人雲南広域福社会

# 目 次

I. 総括	P 1
II. 法人運営	P 3
1. 理事会、評議員会	P 3
2. 監査	P 5
3. 評議員選任・解任委員会	P 5
4. 政策運営会議	P 6
5. 所長会議	P 6
III. 事業活動の運営に当たって	P 6
1. 利用者の人権尊重、苦情解決	P 6
2. 職員の研修、教育	P 6
3. 防災対策	P 8
4. 関係機関との連携、運営の公開	P 9
5. 地域の人材育成や地域啓発	P 9
6. 福祉団体への支援	P 9
IV. 各事業所の事業報告	P 11
1. 就労支援事業所しゃぼん玉工房	P 11
① 就労移行支援事業	
② 就労継続支援B型事業	
③ 就労定着支援事業	
2. 生活介護事業所にじいろ	P 14
3. 共同生活援助事業所レインボーハイツ	P 17
4. 児童発達支援事業所さくら教室	P 20
5. 相談支援事業所そよかぜ館	P 22
6. 雲南障がい者就業・生活支援センターアーチ	P 25
7. 地域活動支援センターパレット	P 29

# 令和4年度雲南広域福祉会事業報告書

## I. 総括

近年、少子高齢化が一層進行する中で、障がいのある方の増加、特に重度障がいの方が増える傾向にある。そうした中で「すべての人々がその人らしい生活ができるよう支援する」社会福祉法人の役割も重要になっている。

また、障害者総合支援法の一部改正法(平成28年5月成立)が、平成30年4月から完全施行され、就労定着支援事業や自立生活援助事業が新設されると同時に高齢化・重度化に重きを置いたサービス展開と多様なニーズに対するより柔軟で適切な対応が求められるようになった。

こうした中で、私たちは「障がい者(児)支援 第3次中期事業計画」(平成30年度～平成34年度)を策定し、「就労定着支援事業」及び「自立生活援助事業」等を新たに実施していくことなどを検討し、地域のニーズに対応した事業運営と魅力的な職場づくりを目指すこととした。

そういった中で、令和4年度決算においては、収入では、給付費は就労支援事業所「しゃぼん玉工房」は増加したが、児童発達支援事業所「さくら教室」、共同生活援助事業所「レインボーハイツ」、相談支援事業「そよかぜ館」、生活介護事業所「にじいろ」は減少し、法人全体では給付費収入は減少となった。一方、支出面も前年に比べて減少したため、結果として法人全体では、前年度に引き続き、単年度収支は黒字となったが、令和5年度以降引き続き財政的に厳しい状況が続いていく。

更には、前年度末や年度途中で退職者があり、職員の人材の確保にも影響が生じたため、人材不足が最大の課題として捉え、令和5年4月に向けて6名の正規職員を採用することとした。

一方、私たちの法人が果たすべき役割はますます重要となっており、法人の現状と課題について役員と職員が情報を共有しながらしっかりと議論することが何よりも大切になってきている。

そのことを通じて、具体的な目標設定等や方向性を明らかにして、地域貢献を継続していける法人となること、すなわち「健全な法人運営」に全力を傾注していかなければならない。

以下各事業について報告する。

### 1. 障がい福祉サービス事業所の就労支援事業所しゃぼん玉工房では、以下のとおり取り組んだ。

- ① 就労移行支援事業では、利用者個々の適性に応じた職場実習や就労準備支援を行なった。また、就職した方が勤務する職場への訪問等により定着支援を行なった。
- ② 就労定着支援事業では、就労移行支援事業等を利用し、一般就労後、6か月経過した障がい者の就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所や家族等との連絡調整等の支援を行なった。
- ③ 就労継続支援B型事業では、体力や職業能力に応じた作業に従事できるよう支援した。また作業の拡充と工賃向上を目指す中、コロナ禍も回復し、クリーニングでの作業量は増加し、野菜出荷作業では、各種野菜の生育が順調だったために出荷量が増加し、市内の給食センターにも安定して出荷することができた。

### 2. 障がい福祉サービス事業所の生活介護事業所にじいろでは、生産活動と余暇活動、健康管理に関して

支援を行った。生産活動では、利用者の高齢化や障がいの特性を考えた作業種での対応に努めた。また、外出活動については、コロナ禍だったが、利用者の孤立や生活が単調にならないよう行事等を行った。健康管理では、毎日、通所時に健康チェックを行い、健康状態の把握に努めた。

3. 障がい福祉サービス事業所の共同生活援助事業所レインボーハイツでは、以下のとおり取り組んだ。
  - ① 四カ所のユニット毎に各利用者一人一人の状況に応じて、安心して共同生活が継続できるよう支援した。
  - ② 衣食住全般に渡る日常生活や金銭管理、健康管理や余暇支援、また就労している利用者の就労継続支援等に取り組んだ。
4. 児童福祉サービス事業所の児童発達支援事業所さくら教室では、以下のとおり取り組んだ。
  - ① 就学前の児童に対して児童発達支援事業、学齢期の児童・生徒に対して放課後等デイサービス事業を開設曜日の効率化を図りながら、集団療育、個別療育に取り組んだ。
  - ② 雲南市、奥出雲町、飯南町から受託して実施した障がい児通園事業では、通常事業に加えて飯南町、奥出雲町で定期的に療育支援を行った。島根県東部発達障害者支援センターの協力を得て、保護者が「子どもとの関わり方」を学習できるようペアレントトレーニングに取り組み家族支援を行った。また、相談機関につながる前の親子を対象に遊びの教室を開催し、親子の触れあい方を遊びを通じて伝えるよう支援した。
5. 相談支援事業所そよかぜ館では、以下のとおり取り組んだ。
  - ① 雲南市、奥出雲町、飯南町から市町村相談支援事業を受託して、障がいのある方や家族からの生活相談に応じた。
  - ② 指定相談支援事業所としてサービス等利用計画を作成し、障がい福祉サービス事業者等との調整を行った。
  - ③ 島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業を受託し、高次脳機能障がい者の地域生活の相談に応じた。
  - ④ 単身で生活する障がい者等が地域での生活を継続できるよう地域定着支援に取り組んだ。
6. 雲南障がい者就業・生活支援センターアーチでは以下のとおり取り組んだ。
  - ① 障がい者に対する就労支援や職場定着支援、事業主に対する障がい者雇用や雇用管理への助言、働く仲間のグループ育成や交流会の開催、関係機関との就労支援ネットワーク構築等に取り組んだ。
  - ② 就職ガイダンス、ピアサポート活動、マナーアップ講座等、障がい者の就労意欲の向上、働く上で必要な知識やスキルを身につけるための研修会を開催した。
  - ③ 「雲南地域はたらく応援プロジェクト」を、地域の障がい者就労支援関係機関が連携・協力し、就労系福祉サービス事業所利用者の就労支援に取り組んだ。
7. 地域活動支援センターパレットでは、以下のとおり取り組んだ。
  - ① 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域活動支援センターⅠ型事業を受託して、日常的に創作活動

や軽作業による生産活動、障がい当事者の自主的活動の支援や広域的な交流活動等を行った。

- ② 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業や社会参加促進事業等を受託して、手話通訳者の設置、芸術・文化教室の開催や視覚障がい者の社会研修等に取り組んだ。

8. 新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応を以下のとおり行った。

- ① 新型コロナウイルス感染症対策として、「小学校休業等対応コース助成金」の活用を図った。
- ② 各事業所において感染拡大防止のため、一部の会議・行事・活動等において、中止・延期・縮小の措置をとった。
- ③ 職員・利用者のうち希望者については、新型コロナウイルスワクチン接種の4・5回目を令和4年9月から令和5年1月までに行った。
- ④ 新型コロナウイルス感染症対策として、職員・利用者が陽性となり、令和4年7月と8月に「就労支援事業所しゃぼん玉工房」で1日間、「生活介護事業所にじいろ」で3日間、法人の自主判断で休所とした。

II. 法人運営

1. 理事会、評議員会

雲南広域福祉会の現在の理事・評議員数は以下のとおりである。

- 1) 理事数 7名
- 2) 評議員数 8名
- 3) 監事数 3名

(1) 理事会の開催状況

回	会議名 開催年月日	出席者数	主な議案
1	第92回理事会 6月8日(水)	理事：6名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長の職務執行状況報告について</li> <li>・ 令和3年度事業報告について</li> <li>・ 令和3年度会計決算について</li> <li>・ 令和4年度補正予算（第1次）について</li> <li>・ 第71回評議員会の招集の決定について</li> </ul>
2	第93回理事会 12月19日(月)	理事：7名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長の職務執行状況報告及び上半期事業報告について</li> <li>・ 苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会の開催結果について</li> <li>・ 育児・介護休業等に関する規則・相談支援事業所そよかぜ館運営規程の一部改正の専決処分について</li> <li>・ 役員・評議員の辞任について</li> <li>・ 懲戒等審査会設置規程の一部改正について</li> <li>・ 令和4年度補正予算（第2次）について</li> <li>・ 評議員候補者の選定について</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・第72回評議員会の招集の決定について</li> <li>・第6回評議員選任・解任委員会の招集の決定について</li> </ul>
3	第94回理事会 3月17日(金)	理事：6名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雲南市による実地指導監査の受検結果について</li> <li>・第6回評議員選任・解任委員会の開催結果について</li> <li>・生活介護事業所にじいる運営規程の一部改正の専決処分について</li> <li>・政策運営会議委員の氏名について</li> <li>・令和4年度補正予算（第3次）について</li> <li>・令和5年度事業計画について</li> <li>・令和5年度当初予算について</li> <li>・定款細則の一部改正について</li> <li>・経理規程の一部改正について</li> <li>・給与規程の一部改正について</li> <li>・監事監査実施規程の制定について</li> <li>・第73回評議員会の招集の決定について</li> </ul>

(2) 評議員会の開催状況

回	会議名 開催年月日	出席者数	主な議案
1	第71回評議員会 6月23日(木)	評議員：6名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告について</li> <li>・令和3年度会計決算について</li> <li>・令和4年度補正予算（第1次）について</li> </ul>
2	第72回評議員会 1月13日(金)	評議員：6名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期事業報告について</li> <li>・苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会の開催結果について</li> <li>・評議員の交代について</li> <li>・令和4年度補正予算（第2次）について</li> <li>・理事の補充選任について</li> </ul>
3	第73回評議員会 3月29日(水)	評議員：7名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雲南市による実地指導監査の受検結果について</li> <li>・令和4年度補正予算（第3次）について</li> <li>・令和5年度事業計画について</li> <li>・令和5年度当初予算について</li> </ul>

## 2. 監査

### (1) 監査の状況

回	実施年月日	実施者	内 容
1	5月27日(金)	監事：3名 財務担当理事：1名	令和3年度 事業報告 令和3年度 資金収支計算書 令和3年度 事業活動計算書 令和3年度 貸借対照表 令和3年度 財産目録

### (2) 内部経理監査の状況

回	実施年月日	実施者	点 検 項 目
1	8月23日、 26日、 30日	財務担当理事：1名	第1四半期分 ①経理規程の整備状況 ②会計組織の整備状況 ③通帳・印鑑の管理状況 ④支出事務の状況 ⑤収入事務の状況 ⑥寄附金の取扱状況 ⑦固定資産の管理状況 ⑧予算の管理状況 ⑨契約の取扱状況 ⑩財務諸表の開示 ⑪諸帳簿等の作成状況 計算書類、会計帳簿（主要簿、補助簿）、証憑書類関係（見積書、請求書、振込書、領収書、決議書等）
2	12月16日、 22日、 27日	財務担当理事：1名	第2四半期分 (点検項目は第1回と同じ)
3	3月16日、 20日、 27日	財務担当理事：1名	第3四半期分 (点検項目は第1回と同じ)

## 3. 評議員選任・解任委員会

回	実施年月日	出席者数	選任・解任の状況
1	1月13日(金)	委員3名 事務局員	評議員3名 選任 多田納崇道・景山道夫・植田薫

#### 4. 政策運営会議

事業規模が拡大・多様化してきている当法人の業務の中で、重要な事項の執行等事業運営の円滑化を図るため、理事長と理事長の指名する理事による政策運営会議を開催した。

開催日 6月2日(木)、12月7日(水)、3月9日(木)

#### 5. 所長会議

月1回の定例開催により各事業所の成果や課題を共有しあい、法人全体で事業間の連携を取りながら各事業の特性を活かして業務に当たった。又、個別に事業所の経営状況について所長ヒアリングを行いながら経営改善への努力を行っており、今後はこれを所長会議の中に位置づけて経営改善に努めたい。

### III. 事業活動の運営に当たって

#### 1. 利用者の人権尊重、苦情解決

いかなる時も利用者の人権を尊重して業務に従事し、虐待防止に取り組んだ。

苦情解決担当者会議の開催、第三者委員を交えた委員会の開催、第三者委員による生活介護事業所にじいろの巡視及び利用者と第三者委員との懇談会等を開催して、利用者の権利擁護に努めた。また、法人内において人権、権利擁護に関する所内職員研修会を開催するとともに、所外において開催される人権研修会に参加した。

苦情解決担当者会議	9月26日(月)
第三者委員を交えた委員会	10月 3日(月)
第三者委員による生活介護事業所にじいろの巡視、利用者と第三者委員との懇談会	11月 4日(金)

寄せられた苦情・意見に対しては、誠意を持って話を聴き、改善に取り組んだり、或いは理解をいただくこととしている。

寄せられた苦情・意見 0件

#### 2. 職員の研修、教育

1. 施設外専門研修を積極的に受講させ、障がい者支援の力量形成に取り組んだ。

2. 法人内に研修委員会を設置し、施設内研修を計画的に実施し、職員の資質向上に取り組んだ。

3. OJTの推進、自己啓発や資格取得に向けた自己学習の支援等を行った。



研修実績表

月	・全職員対象（所内） ・テーマ, 業務調整により全職員対象(所外)	・職務経験・職種等による対象（施設外研修）	
	施設内(外)研修	職種・事業担当等による	職務経験・職位による
4	職員会議（書面配付） 〈所内〉 各事業間の理解と連携	手話通訳技能検定対策研修（1名）4/28～	
5			
6		視覚障害・就労支援者講習会（1名）6/23～24 支援コーディネーター全国会議（1名）6/29 （オンライン）	
7		就業支援基礎研修（1名）7/6～7/8 障害者就業・生活支援センター主任就業支援 担当者研修（1名）7/13～15（オンライン） 障害支援区分認定調査員及び市町村審査会委 員合同研修会（1名）7/13 サービス管理責任者更新研修・児童発達支援 管理責任者研修（2名）7/20 相談支援従事者初任者研修（1名）7/25～26、 8/26、9/15～16	
8		B C P 策定推進セミナー（1名）8/17（ZOOM） サービス管理責任者基礎研修（1名） 8/24～8/25	
9	職員研修 〈所内〉 「法人の理念と基本方針」（34名） 9/14、9/16 （研修委員会主催）	障がい者雇用促進フォーラム（2名）9/1 改正育児介護休業法準備セミナー（1名）9/2 （ZOOM） 青年期・成人期における発達障がいのある人 を誰一人取り残さない社会に向けて（1名） 9/4 メンタルヘルスキタほり教室（1名）9/10 サービス管理責任者基礎研修（1名） 9/15～9/16 雲南圏域ゲートキーパー養成研修（1名）9/28	
10		福祉サービス苦情解決研修会（5名）10/14 雲南市地域ケア会議（4名）10/14 労務管理研修（1名）10/20（ZOOM）	

		雲南市基幹相談支援センター研修会 (4名) 10/25	
		相談支援従事者現任者研修(1名) 10/30～11/1、11/24、12/20	
11	職員研修 (所内) 「人権・権利擁護」(33名) 11/14、11/17 (研修委員会主催)	サービス管理責任者更新研修(2名) 11/22	
12	こころのフォーラム2022 「息子と一緒に歩んだ28年」～穏やかに過ごせる日々～に感謝～ 12/9 (パレット・そよかぜ館主催)	就業支援実践研修(1名) 12/2	監事研修(3名)eラーニング*
		社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症対応研修(2名) 12/6	社会福祉法人連携推進セミナー(1名) 12/6 (ZOOM)
		成年後見制度移行検討ガイドライン活用セミナー(1名) 12/8(オンライン)	
		会計実務研修(中級コース)(1名) eラーニング*	
		会計実務研修(上級コース)(1名) eラーニング*	
1		岡山リハビリテーション講習会(1名) eラーニング*	
		短期間雇用プロジェクト情報共有会研修(2名)1/31	障がい福祉サービス経営セミナー(1名)1/26 (ZOOM)
2	職員研修 (所内) 「メンタルヘルス」(32名) 2/27、3/2 (研修委員会主催)	障がい者虐待防止・権利擁護研修(4名) 2/2、2/8	キャリアパス制度運用研修I(1名)2/15
		サービス管理責任者更新研修(2名) 2/16	
		相談支援専門部会研修会(3名) 2/28	
3			

### 3. 防災対策

消防計画に基づいて、日常点検を実施し火災予防に努めるとともに、非常時に冷静な行動をとることができるよう避難訓練や消火訓練を実施した。また、交通安全運動にも取り組んだ。

防災対策部会の開催	7月12日(火)、8月26日(金)
総合訓練の実施	三刀屋事業所：10月18日(火) 木次事業所：3月20日(月) 加茂事業所：8月19日(金)
部分訓練の実施(グループホーム水害・火災発生時の避難確認)	水害：レインボーハイツ7月12日(火)、いいしハイツ7月4日(月)、こじょうハイツ7月3日(日)、はるひハイツ7月14日(木) 火災：レインボーハイツ3月13日(月)、いいしハイツ3月10日(金)、こじょうハイツ3月5日(日)、はるひハイツ3月9日(木)

交通安全運動の実施	4/11(月)～4/13(水)、9/26(月)～9/28(水)紀 ※しゃぼん玉工房利用者、グループホーム利用者の自転車点検 1回/月
-----------	---

#### 4. 関係機関との連携、運営の公開

障がい者総合支援協議会への参加や個別支援会議の開催、就業支援に関するネットワーク会議や高次脳機能障がい者支援に関するネットワークの取り組み等を通じて関係機関や他の障がい福祉サービス事業者等との連携を図った。

また、雲南市社会福祉法人連絡会として、「くらしの安心を支える 身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業」、「うんなん福祉・安全サポーター」による「ながら見守り活動」、「地域の防犯活動」を展開した。

「そよかぜだより」「さくら通信」の発行、ホームページの活用によって情報の提供に努めた。

#### 5. 地域の人材育成や地域啓発

- (1) 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業を受託し、今年度は、手話奉仕員養成講習会(入門課程)を受講生14名(雲南12名、奥出雲2名、飯南0名)で、21回(42時間)実施した。また、登録手話奉仕員の研修会を4回、手話啓発活動として、手話体験教室を雲南市と奥出雲町で開催した。また、登録要約筆記奉仕員フォローアップ研修は、11月に開催した。
- (2) 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業を受託し、家族交流会と家族研修会を開催し、精神障がい者の保健福祉の向上と社会復帰の促進を行うとともに雲南地域の家族の交流を深めた。
- (3) 雲南地域のスポーツ交流会は行ったが、ふれあいまつりはコロナ禍のため中止とした。
- (4) 体験実習や研修の受け入れ、視察や見学の受け入れについては、コロナ禍の影響はあったが、受け入れを行い、理解を深め合うことができた。

就労支援事業所しゃぼん玉工房、生活介護事業所にじいろ、地域活動支援センターパレット、相談支援事業所そよかぜ館、雲南障がい者就業・生活支援センターアーチでの受け入れ

- ・実習・研修者：出雲養護学校雲南分教室、島根大学医学部看護学科、加茂中学校、島根県立大看護学部、さくらんぼ 5団体 18名
- ・視察・見学者：トリニティーカレッジ、就労継続支援B型つわぶきネット、障がい者就労事業振興センター、(社)博愛会、さくらんぼ、きすきの里、島根県庁、三刀屋小学校、無二苑 9団体 43名

児童発達支援事業所さくら教室での受け入れ

- ・視察・見学者：雲南市、奥出雲町、飯南町、布勢幼稚園 4団体 6名

#### 6. 福祉団体への支援

福祉団体の自主性を尊重し、効率的な運営ができるよう事務局を担当し、支援した。

##### (1) 雲南障がい者スポーツ協会

目的：障がい者がスポーツ競技への参加を通して体力の増進を図り、障がい者相互の親睦の輪

を広げ、社会参加の意識を高めるとともに、地域の障がい者スポーツへの理解を深め、障がい者福祉の増進に寄与することを目的とする。

・雲南障がい者スポーツ協会関係事業（参加者総数 207名）

コロナ禍だったが、6月にグラウンドゴルフ大会（参加者61名）を、10月に3年ぶりにスポーツ大会（参加者75名）を、3月に4年ぶりにニュースポーツ大会（参加者75名）を開催した。

・島根県障がい者スポーツ協会関係事業（参加者：ボーリング12名、ボッチャ3名、グラウンドゴルフ7名）

(2) 精神当事者会サークル雲南（参加者総数 915人）

目的：雲南圏域に在住の精神障がい当事者の孤立を解消し、仲間の輪を広げ、活動を通じて様々な体験をし、社会参加の促進と充実を図ることを目的とする。

活動内容：①ミーティング、総会、交流活動、作業活動、学習活動、各種会議への参画、たよりの発行

②スポーツクラブ活動（ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ）、大会等への参加

③清掃美化等ボランティア活動

#### IV. 各事業所の事業報告

##### 令和4年度 就労支援事業所しゃぼん玉工房事業報告

#### I. 事業別実施状況

##### 1. 就労移行支援事業

一般就労を希望される方に対し、個別支援計画に基づき、事業所内での作業、企業内実習等を実施し、就労前準備支援を実施した。就労前準備の整った方に対しては、個々の適性に沿った職場探しを行った。

##### (1) 就職件数

件数	就職先の業務内容
0	

##### (2) 職場見学・実習の実施

1) 職場見学 2社

2) 職場実習

件数	日数	実習先の業務内容
2	10	製造業、製造小売業 合計2社

##### (3) 就労へ向けたプログラムの実施

実習、見学に向けて個別に就労勉強会を実施し、ビジネスマナー等、事前学習の機会を設けた。

##### (4) 就労アセスメントの実施

特別支援学校の生徒等、7名に対して実施した。内2名が当事業所の利用に繋がった。

##### 2. 就労継続支援B型事業

一般就労をしていたが、年齢や体力等の理由で離職した方、一般就労を目指しているが必要な体力や職業能力の不足により就職に結びつかない方等に対し、個別支援計画に基づき、事業所内外において生産活動の機会を提供した。

##### (1) 作業活動内容

- ・新型コロナウイルス感染対策として、検温やマスクの着用及び、日々の健康観察を実施した。また、各作業室の利用者数の制限、休憩時間を分散する等、その他感染予防に努めながら作業活動を実施した。
- ・新型コロナウイルスによる作業への影響は、前年度と比較しても少なく、クリーニング作業は例年以上の作業量が確保できた。また、市内宿泊施設等からの受注も増え、増収となった。
- ・農作業では、天候や気候にも恵まれ、学校給食用の野菜においては、概ね栽培計画通りの収量を得ることができた。また、福福連携の加工用トマト栽培、契約栽培のにんにくも予定収量が出荷でき、増収となった。
- ・製品加工作業では、作業量確保のため、新たに市内の縫製業者と業務取引を開始したことにより、増収となった。
- ・各作業の作業工程を細分化し、障がいの程度に関わらず、高工賃の作業に従事できるよう工夫をして、一人ひとりの工賃向上に努めた。
- ・就労支援事業収入が支出を大きく上回ったため、令和4年度は精算工賃（個々の年度総支給工賃額の28%相当額を売上余剰金より支給）を支給することができた。年間の平均工賃月額額は32,167円となり、前年度と比較し1,082円増となった。

(2) 就労支援事業収入

16,390,638円 (対前年度比 105%)

作業別収入 (内訳)

作業	収入	前年度比
クリーニング	6,905,868円	104%
野菜加工(ホウレン草、セリ)	1,821,446円	87%
製品加工(かぼちゃ等)	1,562,641円	125%
施設外(トイレ清掃、除草等)	3,331,890円	100%
野菜出荷(農作業)	2,768,793円	123%

(3) 利用者工賃

1) 平均工賃月額 32,167円 (前年度比 103%) ※就労継続B型事業対象

2) 工賃支払総額 11,441,346円 (前年度比 115%)

3. 就労定着支援事業

就労移行支援事業を利用して就職し、就職後6か月経過した利用者に対し、面談や職場訪問、支援会議等を実施して就職後の定着支援を行った。

(1) 利用状況

	契約数	定着数(年度末時点)	就職先の業務内容
就労定着支援	2	2	製造業 合計2社

(2) 職場定着状況

年度	定着者数(年度末時点)	定着率(%)
令和3年度	6	100
令和4年度	2	100

II. 学習活動・行事・交流活動の実施状況

・新型コロナウイルス感染症の影響により、当事者交流会、スポーツ大会、ふれあいまつり等の多くの行事が中止や縮小となり、他事業所及び地域との交流の機会は例年より減少している。

III. 支援実施状況

(1) 利用者の状況(事業別)

① 契約者数推移

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就労移行	2	2	4	3	3	4	4	3	2	2	2	2
継続B型	29	29	29	29	29	29	30	32	32	32	31	33
就労定着	7	6	5	5	4	4	4	3	3	3	3	2
合計	38	37	38	37	36	37	38	38	37	37	36	37

② 平均利用者数・利用率 ※( )カッコ内前年度比

	就労移行支援	就労継続支援B型
一日平均利用者	2.1人 (-0.8人)	23.1人 (+2.7人)
年間利用率	35% (-13%)	96% (+11%)

③ 障がい種別（年度末時点）

	精神	知的	発達	身体	合計（人）
就労移行支援	0	1	1	0	2
就労継続B型	11	17	3	2	33
就労定着支援	1	1	0	0	2
合計	12	19	4	2	37

④ サービス別・年代別（年度末時点）

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	平均（歳）
就労移行支援	1	1	0	0	0	0	0	19.5
就労継続B型	2	4	9	8	4	6	0	42.3
就労定着支援	0	0	1	1	0	0	0	40.0
合計	3	5	10	9	4	6	0	40.9

⑤ 契約者の出身地域別状況（年度末時点）

	雲南市	奥出雲町	飯南町	その他	合計（人）
就労移行支援	2	0	0	0	2
就労継続B型	31	1	0	1	33
就労定着支援	2	0	0	0	2
合計	35	1	0	1	37

⑥ 新規契約者の利用経路

相談支援事業所	8
特別支援学校	5
その他の機関	0
合計	13

⑦ 退所者

	就職	法人内サービス	法人外サービス	就労アセスメント	在宅	入院	その他	合計
就労移行支援	0	0	0	7	0	0	0	7
就労継続B型	0	0	2		0	0	0	2
就労定着支援		0	0		0	0	5	5
合計	0	0	2	7	0	0	5	14

## 令和4年度 生活介護事業所にじいろ 事業報告

### 1. 事業実施状況

利用者の個別支援計画に基づき、創作活動や生産活動等の機会を提供し、身体機能や生活能力の維持・向上のために必要な支援を行った。なお、事業全般で新型コロナウイルス感染症予防に努め、所外活動を一部自粛しながら事業活動を行った。

#### (1) 利用者状況

4年度の延利用者数は2,743名、3年度は2,831名で88名の減少となった。一日平均11.2人（前年度比0.5減）であった。年度途中で契約者が増えたが、体調不良、コロナ感染の不安、入院、家庭事情での休みもあり、利用者数の増とならなかった。

#### (2) 活動内容

週間予定	月・火・水・木・金
午前	生産活動
午後	個別活動・全体活動・外出活動

毎月、活動予定表を作成し、利用者に配布

- ・生産活動…企業の部品組立て作業、しゃぼん玉工房の野菜出荷調整作業など
- ・個別活動…個人の趣味活動（部品組立て作業、創作活動、入浴など）
- ・全体活動…創作活動、体操、軽スポーツ、クイズ、喜劇鑑賞など
- ・外出活動…買物、コンサート参加、りんご狩り、散歩、ドライブ、アート展見学など

#### (3) 生産活動の実施状況

利用者の高齢化や障がい特性を考えた作業種を受注し、作業環境を整え、利用者の意思と特性に合った作業種に取り組んでもらい、達成感や生きがいを感じてもらえるよう支援した。生産活動での収入を工賃として、従事された利用者に分配した。4年度の作業収入は491,265円で前年度より108,774円の減額となった。それに伴い、平均工賃月額も2,340円（1人あたり）となり、3年度より447円の減額となった。年度を通してコロナ禍でもあり、作業受注量の変動があり、工賃支払いでの増減があった。

#### (4) 個別活動・全体活動の実施状況

個別活動では、個人の趣味を持っている方の取り組み支援を行い、趣味がない方には、生産活動を提供し、余暇活動支援を行った。全体活動では、創作活動や所内レク活動などを中心に行い、仲間と楽しく活動する喜びを感じてもらえるよう支援した。

#### (5) 健康管理支援の実施状況

毎日、通所時に検温、血圧などの健康チェックを行い、健康状態を把握した。気になる点があった場合は、関係機関や医療機関と連携し、健康維持に向けて支援をした。また、体操や軽スポーツ、「笑い」などの活動を行い、体力の維持に向けて支援をした。

#### (6) 行事・外出活動の実施状況

コロナ禍だったが、利用者の孤立や生活が単調にならないよう行事や外出活動を行った。楽しみながら身体機能の維持や脳の活性化、コミュニケーションや交流の促進をはかり、生活に潤いや充実感が持てるようにした。買物外出は、地域生活に馴染んでもらえるようにするとともに自己選択をしながら買い物ができるよう、一人ひとりの希望に沿う形で実施した。



4月	花見(木次・三刀屋)、買物外出(加茂)	10月	コンサート参加、リンゴ狩り(飯南)、買物外出(加茂)
5月	買物外出(加茂)	11月	紅葉狩り(奥出雲)、買物外出(加茂)
6月	笹巻、買物外出(加茂)	12月	アート展見学(松江)、買物外出(加茂)、忘年会
7月	買物外出(加茂)	1月	初詣(加茂)、買物外出(加茂)
8月	買物外出(加茂)、音楽体験、にじいろまつり	2月	節分の日、買物外出(加茂)
9月	コンサート参加、音楽体験、買物外出(加茂)	3月	ニュースポーツ大会、買物外出(加茂)、花見(大東・加茂)

(7) 利用者家族との連携状況

在宅利用者家族とは送迎時、GH利用者家族とは支援会議を通じて連絡、相談を行った。

(8) 関係機関との連携状況

相談支援機関、他福祉サービス事業者、医療機関等と連携し、利用者のサービス利用や個別支援計画の作成等を支援した。また、見学、体験利用、新規相談での連携も図った。

(9) 苦情解決の実施状況

サービス利用での困りごとや不満に思われることを迅速かつ円満に解決できるようにした。また、苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会へ参加し、日頃から苦情解決に向けた取り組みについて、所内での話し合いを行った。

(10) 非常災害対策・緊急時対応状況

総合避難訓練(2回)への参加や「にじいろ防災の日」(1回)を企画し、緊急時対応訓練や話し合いを行った。また、日常点検を行い、火災予防に努めた。

(11) 体験利用、見学の受入れ

不安なく利用開始できるよう、事前の体験利用や見学希望者の対応をした。

2. 利用実績(令和5年3月31日時点)

(1) 利用状況〔1日の利用定員:20名〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
開所日数	20	19	22	20	22	20	21	20	20	19	19	22	20.3日
利用者数	230	214	249	212	226	213	231	243	247	213	211	254	228.6人
1日平均	11.5	11.3	11.3	10.6	10.3	10.7	11.0	12.2	12.4	11.2	11.1	11.6	11.2人

(2) 支援区分別契約者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	5	5人
3	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8人
4	4	4	4	4	4	5	7	7	7	7	7	7人
5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2人
契約者数	20	20	20	20	20	20	22	22	23	23	22	22人

(3) 障がい種別契約者数

身体	知的	精神	高次脳	発達	計
4	3	13	2	0	22人

(4) 年代別契約者数

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	平均
0	0	1	1	3	6	11	64.6歳

(5) 出身市町別契約者数

雲南市	奥出雲町	飯南町	その他	計
19	2	1	0	22人

(6) 新規契約者数と退所者数

新規者数：3人（相談支援事業所、他福祉サービス事業所からの紹介）

退所者数：2人（他サービスへの変更、サービス終了で自宅生活）

(7) 体験利用者数と見学者数

体験者数：3人（新規利用前の体験）

見学者数：3人（新規利用希望、養護学校進路相談）

## 令和4年度 グループホームレインボーハイツ事業報告

1. ユニット別支援の特徴…利用者の状況に応じて住環境や援助の重点を考慮して運営した。

開始年度	ユニット名	定員	3月末 利用者数	ユニットの特徴
H14.4月	レインボーハイツ	10名	9名	精神症状の揺らぎの大きい利用者の相談に細やかに対応し、安心して暮らしていただいた。
H20.4月	いいしハイツ	5名	4名	男性で構成。共同生活のルールの中で話し合いながら楽しく暮らしていただいた。
H22.4月	こじょうハイツ	6名	5名	男性で構成。安定した日中活動の継続に向け、日常生活や就労面での援助をしながら、楽しく暮らしていただいた。
H24.4月	はるひハイツ	5名	3名	女性で構成。安定した日中活動の継続に向け、日常生活や就労面での援助をしながら、楽しく暮らしていただいた。
		26名	21名	※3年度終了時 19名

2. 利用者への一体的援助、個別的援助、介護の実施

休息の場を提供し、個別ニーズに応じた個別支援計画により、安心して、楽しく共同生活を送り、コロナ禍でも日中活動の場に継続して出かけられるよう支援や援助を行った。

(1) 日常生活支援の実施

(衣、食、住環境、保清、身だしなみ、ホーム当番(炊飯、掃除等)活動が苦手な方への援助)

生活相談	延 318 件
生活支援	延 3,166 件

(2) 健康管理の実施

基礎疾患等での定期通院の援助、受診同行、服薬支援、不調時の対応等、急性の傷病に対しての受診援助、新型コロナウイルス感染防止、インフルエンザ、食中毒等での予防等を行った。

健康管理、健康・医療相談	延 214 件
受診支援	実人数 17 名、延 431 件
服薬支援	延 6,638 件 (薬の預かり 6 名)

(3) 金銭管理支援の実施

自己管理支援及び金銭等(必要者)の預かり、日常生活自立支援事業(社会福祉協議会)の利用支援を行った。

金銭管理支援	延 326 件 (金銭等預かり 1 名)(日常生活自立支援事業利用援助 10 名)
--------	---

(4) 関係機関等との連絡調整等の実施

日中活動に継続して出かけられるよう関係機関等と連絡調整を行い、生活支援、就労定着支援を行った。

関係機関との連絡調整	延 181 件
------------	---------

(5) 利用者ミーティングの実施 (利用者間の人間関係調整でのグループワーク)

	職員合同	利用者のみ
レインボーハイツ	6 回	0 回
いいしハイツ	6 回	0 回
こじょうハイツ	12 回	0 回
はるひハイツ	16 回	0 回

(6) 買い物支援の実施

買い物デー	延 312 回 (792 人)
-------	-----------------

(7) 季節行事（文化、スポーツ活動）、社会参加・地域交流の実施

コロナ禍でもあり、全ユニット合同交流会を1回実施し、利用者、職員と一緒に楽しい時間を過ごした。年末は、夕食を豪華にし、各ユニットで慰労会を実施した。

全ユニット合同交流会（軽スポーツ、クリスマスコンサート）	1回
還暦祝い、古希祝い	3名

(8) 近隣地域との交流、地域の理解（コロナ禍のため、地域イベントなし）

(9) 運営の公開と合意形成（施設見学の受入れ、たより広報、支援会議への参加等）

(10) 苦情解決（苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会への参加）

(11) 非常災害対策・緊急時対応（火災予防、避難訓練、夜間防災体制、緊急時連絡体制）

総合訓練	1回
部分訓練	各ユニット2回（水害訓練・火災訓練）

	R4年度	R3年度
夜間緊急対応	実人数3名、延4件	実人数1名、延1件

3. 利用者家族への支援及び研修会の案内

(1) 面談、電話連絡・相談、支援会議の実施

随時利用者家族と面談、電話連絡・相談、支援会議へ参加し、利用者及び家族支援を行った。

(2) 家族向け交流会、研修会の参加案内

① 家族研修会「こころのフォーラム2022」への参加

（主催：地域活動支援センターパレット、相談支援事業所そよかぜ館）

令和4年12月9日（金）13:30～15:00 下熊谷交流センター

② 精神障がいのある方の家族交流会への参加

（主催：地域活動支援センターパレット、相談支援事業所そよかぜ館）

令和5年2月25日（土）10:30～12:00 一花

4. 関係機関との連携

個別支援計画の作成や実施にあたっては、相談支援機関や他の福祉サービス事業者、医療機関等関係機関との連携を図った。

5. 体験利用の受入れ

不安なくグループホーム利用が開始できるよう、事前の体験利用を受入れた。

	R4年度	R3年度
体験利用	実人数4名、計6回、計30日間	実人数2名、計3回、計8日間

令和4年度 グループホームレインボーハイツ利用者の状況 (R5.3月現在)

①利用者数

単位：名(%)

ユニット名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
レインボーハイツ	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108(90.0%)
いいしハイツ	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	40(66.7%)
こじょうハイツ	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60(83.3%)
はるひハイツ	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	4	29(48.3%)
計	19	19	19	19	19	19	19	19	21	21	21	22	237(76.0%)
特記：入院者	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	7(実2)
体験利用者	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	1	0	6(実4)

②障害支援区分

単位：名

非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
3	0	5	7	6	1	0

③男女別・年代別

単位：名(%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
男	0	1	3	1	2	5	2	14(63.6%)
女	1	1	0	0	2	1	3	8(36.4%)
計	1(4.5%)	2(9.1%)	3(13.6%)	1(4.5%)	4(18.2%)	6(27.3%)	5(22.7%)	22

④利用期間別

単位：名

1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年	15年以上
3	4	4	6	5

⑤日中の活動先

単位：名

一般企業	就労移行支援事業	就労継続支援B型事業	生活介護事業	その他
8	0	6(2名生活介護)	10	0

⑥障がい種別

単位：名(%)

精神障がい 13 (59.1%)	内 身体障がい重複(3)、知的障がい重複(2)、高次脳機能障がい重複(1)
知的障がい 9 (40.9%)	内 精神障がい重複(2)

⑦出身市町別契約者数

雲南市	奥出雲町	飯南町	その他	計
15	5	1	1	22

⑧新規利用者数

新規利用者数
3

⑨退所者数と退所先

退所者数	退所先
1	実家：1

## 令和4年度 児童発達支援事業所さくら教室 事業報告

### 1. 実施した支援事業

- (1) 児童福祉法に基づき、障害児通所支援事業（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援）を実施し、障害のある児童に対して、身体機能、身辺自立、社会性の発達支援を行なった。
- (2) 1市2町から障がい児通園（デイサービス）事業を受託し、障がいのある児童、その家族に対し、療育活動、社会学習活動などを行った。
- (3) 1市2町から日中一時支援事業を受託し、障がいのある児童に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための療育を行なった。
- (4) 県療育等支援施設事業を受託し、訪問、施設指導の方法により、療育的支援が必要な児童、保護者に支援を行った。

### 2. 障害児通所支援事業の契約、利用状況（単位：人）

#### (1) 利用状況（在住町村・年代別）

児童発達支援事業

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
雲南市			4	6	5	15
奥出雲町		2		2	2	6
飯南町			2			2
計		2	6	8	7	23

放課後等デイサービス事業

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中～	計
7	2	2	3	3	2	2	21
1		1					2
			1			1	2
8	2	3	4	3	2	3	25

#### (2) 月別利用状況（利用児延人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童発達支援	42	50	63	67	62	69	73	81	57	69	74	91	798
放課後等デイサービス	76	39	42	83	146	38	36	28	47	51	39	56	681
計	118	89	105	150	208	107	109	109	104	120	113	147	1479

#### (3) 利用人数推移（利用児延人数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童発達支援 (未就学児)	R2	60	47	66	55	66	55	63	68	74	78	67	97	796
	R3	89	62	88	74	96	91	90	86	93	98	74	98	1039
	R4	42	50	63	67	62	69	73	81	57	69	74	91	798
放課後等 デイサービス (就学児)	R2	87	41	49	38	129	26	48	41	44	60	38	68	669
	R3	77	40	51	66	124	44	62	55	54	58	46	60	737
	R4	76	39	42	83	146	38	36	28	47	51	39	56	681

### 3. 日中一時支援の契約、利用状況（単位：人）

#### (1) 利用状況（在住町村・年代別）

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
雲南市			2	2		4
奥出雲町						
飯南町						
計			2	2		4

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中～	計
2		1	3				6
2		1	3				6

#### (2) 月別利用状況（利用児延人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用児人数	22	10	16	23	25	10	11	13	20	14	12	28	204

#### 4. 障がい児通園（デイサービス）事業 子ども発達支援事業

- ・あそびのきょうしつ 12回
- ・ミニさくら飯南 8回
- ・ミニさくら奥出雲 9回
- ・ペアレントトレーニング 6回（9月～11月）
- ・就学相談会 1回
- ・言語聴覚士（ST）による指導 9回
- ・作業療法士（OT）による指導 3回
- ・保護者相談会 3回（リモート形式による）
- ・季節行事活動 3回（ミニ運動会、りんご狩り、クリスマス会）

#### 5. 島根県療育等支援事業

事業名	実施延べ件数
訪問療育事業	72件
施設指導事業	5件
合計	77件

#### 6. 関係機関との協力、連携機関

- ・いしいクリニック やましろクリニック 児童発達支援センターやましろ  
医師…保護者相談会  
ST…言語指導 OT…作業療法
- ・島根県東部発達障害者支援センターウィッシュ ペアレントトレーニング 巡回指導
- ・ペアレントメンター島根 ペアレントトレーニング
- ・教育委員会 子ども政策局 就学相談会 相談、情報交換
- ・雲南圏域各市町、保健師、福祉事務所 通園児紹介・相談・情報交換、あそびのきょうしつ  
発達クリニック、1：6、3歳児健診後の支援連携  
ミニさくら奥出雲、飯南での支援連携

#### 7. 広報誌作

活動内容周知を目的とし、「さくら通信」を発行（利用者、関係機関に配布）

#### 8. 見学、実習生の受入

布勢幼稚園

#### 9. 非常災害対策・緊急時対応

避難訓練の実施

#### 10. まとめ

- ・コロナ禍の影響

医師派遣による保護者相談会はリモート会議形式に切り替えて行った。保育所等関係機関への訪問、来所は縮小したままだったが、行事はできうる限り行い3年度よりも多く行うことが出来た。

- ・児童発達支援事業の延べ利用数

3年度同様、保育所、幼稚園との併用通所で週1回程度利用される児童のみだった。3年度より年長児が減り、利用延べ人数が減少した。人数の増減は年齢構成によるところも大きい。

- ・放課後等デイサービス事業の開設曜日の見直しとその後

2年度に利用人数が少ない曜日があったため、3年度から開所を平日は、月、火、木曜日とし、4年度も同様にした。放課後児童クラブとの併用の児童も多く、利用延べ人数が減少した。

1. 委託相談支援事業

雲南市、奥出雲町、飯南町から市町村相談支援事業を受託し、障がいのある方や家族からの生活相談に応じた。

(1) 市町村別利用者数（実数）

	雲南市	奥出雲町	飯南町	他市町	計
新規	18	2	1	2	23
継続	155	14	10	2	181
合計	173	16	11	4	204

(2) 障がい種別相談利用者数 ※重複障がいも含む ( )内は新規相談者数

	身体	知的	精神	発達	高次脳	重症心身	その他	計
実	37(0)	56(5)	51(7)	39(8)	9(1)	0	20(2)	212(23)
率	17.5%	26.4%	24.1%	18.4%	4.2%	0.0%	9.4%	
延	706	1,024	1,433	374	182	0	231	3,724
率	19.0%	27.5%	38.5%	10.0%	4.9%	0.0%	6.2%	

(3) 相談形態別相談件数

訪問	449	12.1%
来所相談	180	4.8%
同行	165	4.4%
電話相談	1,262	33.9%
電子メール	4	0.1%
個別支援会議	178	4.8%
関係機関	1,445	38.8%
その他	41	1.1%
合計	3,724	

(4) 相談内容別件数

福祉サービスの利用	1,902	23.3%
障害や病状の理解	426	5.4%
健康・医療	1,403	19.4%
不安の解消・情緒安定	943	17.6%
保育・教育	125	2.1%
家族関係・人間関係	840	13.5%
家計・経済	361	5.0%
生活技術	145	5.1%
就労	127	2.5%
社会参加・余暇活動	168	0.9%
権利擁護	12	0.2%
住居	92	2.4%
地域生活移行支援	0	0.0%
その他	205	2.5%
合計	6,749	

(5) 新規利用者の相談経路

県保健所	市町	医療機関	福祉サービス事業所	相談支援事業所	基幹相談支援センター	就業・生活支援センター	包括・ケアマネ	本人・家族	その他	合計
0	1	3	0	3	7	1	0	4	4	23

(6) 相談支援のまとめ

- ・新規相談は前年度に比して増加した。前年度同様、基幹相談支援センターからの依頼が最も多かった。その他、医療機関からの相談や、他の相談支援事業所から引き継ぐケースもあった。
- ・継続相談では、福祉サービスや医療に関する内容が多かった。また、家族関係や対人関係に関する悩みや不安を訴える内容も多く、一つの相談が長時間、複数回に及ぶことも少なくなかった。
- ・利用者やその家族が新型コロナウイルス感染症の陽性者または濃厚接触者になることも多く、特に単身生活者や同居家族が高齢者のみの世帯等に対し、生活維持のため、福祉サービス事業所や医療機関等との連絡調整を行ったり、療養中の様子を確認する等、状況に応じ支援を行った。



## 2. 計画相談支援・障害児相談支援事業

指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所として、障がいのある方が希望する暮らしの実現に向けてサービス等利用計画を作成し、障がい福祉サービス事業者等との調整を行った。

### (1) 契約者数の状況

①計画相談支援 新規契約16名、解約12名（サービス利用終了、介護保険への移行等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	104	101	101	101	101	101	104	104	101	103	103	105
新規	2	2	1		1		4	1	1	2		2
解約	3	1		1		1	3	1	1			1

②障害児相談支援 新規契約6名、解約6名（進級・施設入所等によりサービス利用終了、転居等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	37	36	37	37	37	38	38	39	39	39	38	38
新規	3		1			1		1				
解約	1									2	1	2

### (2) 支援の状況

①計画相談支援 平均モニタリング数：54.3件/月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サービス利用支援	2	2	1	0	1	1	3	1	1	1	1	2
継続サービス利用支援	58	51	65	49	46	63	53	44	60	47	49	67

②障害児相談支援 平均モニタリング数：13.3件/月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サービス利用支援	7	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
継続サービス利用支援	9	14	18	11	7	19	11	12	16	12	14	16

## 3. 地域相談支援事業

指定一般相談支援事業所として単身で生活する障がい者等に対して地域定着支援を行った。

地域移行支援	実人員 0名	延 0名
地域定着支援	実人員 1名	延 12名
緊急時支援	緊急時支援Ⅰ（0件） ※緊急訪問等	緊急時支援Ⅱ（0件） ※深夜における電話対応

## 4. 島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業

島根県から高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業を受託し、利用者や家族への支援、関係機関との連携等に取り組んだ。

### (1) 相談支援

①新規相談者数

	実人員	(再掲) 新規者の相談経路						
		医療機関	障害者支援事業者	介護保険事業者	保健所	市町村	その他	なし
人員	1	0	0	0	0	0	0	1

②相談延べ件数 (実人数：12名)

	電話	来所 来院	訪問	メール 書簡	その他 (出張・同行等)	計
本人	44	2	52	0	7	105
家族	19	0	5	1	0	25
関係機関	74	0	4	0	2	80
計	137	2	61	1	9	210

(2) 家族の集いの開催

- ①令和4年7月9日(土)『ヨガ教室』※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止
- ②令和4年10月1日(土)『宝石せっけんづくり』3名
- ③令和4年12月16日(金)『ハンカチリースづくり』6名
- ④令和5年3月2日(木)『茶話会』7名

(3) 関係機関との連携、ネットワークの構築

- ①ネットワーク会議の開催
  - ・第1回：令和4年9月14日(水) オンライン開催、23名
  - ・第2回：令和5年3月1日(水) オンライン開催、24名
- ②東部地域支援拠点(松江青葉病院)との連絡会の開催

(4) 研修会の開催

- ①令和5年3月1日(水) オンライン開催、40名
- 講演『高次脳機能障がい支援拠点 認知症初期集中支援チーム 認知症疾患医療センターとは?』  
講師：松江青葉病院 妹尾晴夫 院長

5. ピアサポーター活用事業

(1) ピアサポーター活用状況

- ・ピアサポーター登録者数：4名(男性2名、女性2名)
- ・活用延べ人数：①個別支援0回、②集団支援20回69人

(2) 活動内容

- ・昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため病院への訪問は実施しなかった。
- ・ピアサポーターだより(年4回)の発行を継続し、病院に届けた。地域で暮らすピアサポーターの日常の様子や季節感を入院患者やデイケア利用者に伝えた。
- ・11月にアクティブきたほり(松江市)のピアサポーターとの交流会を行い、互いの活動内容を知る機会となった。
- ・11月に保健所主催のピアサポーターフォローアップ研修にピアサポーターと参加した。

6. 障害支援区分認定調査の受託実施

雲南市、奥出雲町、飯南町から委託を受け、障害支援区分認定調査を行った。

認定調査	29件
------	-----

(雲南市 26件、奥出雲町 1件、飯南町 2件)

7. 研修会や会議等への参加

- (1) 雲南圏域障がい者総合支援協議会への参画(雲南市地域部会、相談支援専門部会)
- (2) 他機関主催の会議等への出席(島根県障がい者自立支援協議会高次脳機能障がい者支援部会、特別支援学校進路相談会 他)
- (3) 相談支援従事者等研修への参加(相談支援従事者初任者研修、相談支援従事者現任研修 他)

8. 広報・啓発活動他

- ・広報紙「そよかぜだより」発行、
- ・ホームページによる情報提供

## I. 事業実施状況

### 1. 相談・支援

- (1) 障がい者や事業主からの個別相談
- (2) 職業準備訓練や職場実習の斡旋
- (3) 事業主に対する障がい者の就職後の雇用管理への助言、調整
- (4) 働く仲間のグループ育成と交流会の開催「ゆーとぴあ」
  - ①雇用安定等事業在職者交流会
    - ・7月30日(土)：『お金との上手な付き合い方講座』 10名参加
    - ・11月27日(日)：グループワーク「仕事を続けていくために必要なこと等」
      - ※求職者との合同開催
      - 講義：「安心して仕事を続けるために」 11名参加
  - ②島根県障がい者の仕事と生活の両立支援事業
    - ・5月28日(土)：ボルタリング、昼食会 9名参加
    - ・7月30日(土)：宝石石鹸づくり、昼食会 10名参加
    - ・9月11日(日)：浜田方面への外出活動(石見曇ヶ浦、水族館アクアス) 13名参加
    - ・11月27日(日)：昼食会、木の実のリース作り 11名参加
    - ・R5年2月12日(日)：Bリーグ観戦 12名参加
- (5) 求職者のためのピアサポート活動の実施
  - ・8月26日(金)：会社見学(奥出雲しいたけ株式会社、グループワーク) 7名参加
  - ・11月27日(日)：グループワーク「仕事を続けていくために必要なこと等」
    - ※在職者との合同開催
    - 講義：「安心して仕事を続けるために」 16名参加(在職者+求職者)

### 2. 関係機関との連携、ネットワークの構築

- (1) 連絡会議の開催：7月11日(オンライン開催)
- (2) 就労支援専門部会の開催
  - ①全体会(ネットワーク会議)
    - ・開催日：5月10日(オンライン開催)、7月5日(集合研修会)、9月22日(オンライン研修会)、3月9日(オンライン開催)
    - ・内容：各ワーキンググループの活動内容の共有、意見交換等
  - ②一般就労ワーキンググループ
    - ・開催日：5月26日、6月7日、8月9日、10月6日、12月16日(計5回)
    - ・内容：就労支援事業所職員研修会開催に向け企画、振り返り、次年度の取り組み内容と企画の検討
- (3) 雲南地域はたらく応援プロジェクトの取り組み
  - ①福祉サービス事業所とのケース検討会の実施：9事業所、対象者19名
  - ②福祉サービス事業所利用者の職場体験実習支援：13件他
- (4) 研修会の開催
  - ①マナーアップ講座：はたるハウス、きすきの里他、計2回実施
  - ②就職ガイダンス(10月21日)
    - ・会場：下熊谷交流センター
    - ・内容：「実践してみよう！コミュニケーション講座」(島根県東部高等技術校 浅津 敏彦氏)
    - 「就職活動のポイント」(ハローワーク雲南 藤原 龍嗣氏)
    - ・参加人数：17名

③就労学習会（令和5年2月17日）

- ・会場：三刀屋農村環境改善メインセンター
- ・内容：体験発表「福祉事業所から一般就労を目指していくには」  
就労継続支援B型事業所 鈴木マリア氏、支援員 右田博久氏  
講演「睡眠について」雲南保健所 安達愛子氏
- ・参加人数：38名

- (5) ハローワーク雲南との情報交換会の開催：計11回実施
- (6) 東部発達障害者支援センターウィッシュとの情報交換会の開催：計3回実施
- (7) 雲南圏域障がい者総合支援協議会への参画
- (8) 県内センター連絡会議、センター長会議の開催・出席
- (9) 他機関主催の会議等への出席（労働局主催会議、特別支援学校進路相談会他）

3. 広報・啓発活動他

- (1) 企業への訪問、職場開拓
- (2) 障がい者雇用情報紙「レインボー」企画・取材
- (3) 広報紙、ホームページによる情報提供 他

II. 相談・支援実施件数

1. 支援対象障がい者の状況（令和5年3月末時点）

(1) 登録状況（人）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R3)
在職中	18	74	63	9	164	157
求職中	12	24	32	3	71	70
その他	2	11	7	3	23	24
合計	32	109	102	15	258	251

(2) 登録者の居住地（人）

雲南市	197
奥出雲町	35
飯南町	19
その他	7
合計	258

(3) 新規登録者の利用経路（人）

ハローワーク	0
地域障害者職業センター	0
特別支援学校	3
就労移行支援事業所	0
上記以外の福祉サービス事業所	3
市町村等行政機関	0
直接利用	1
その他（病院・保健所等）	3
合計	10

<登録者の状況>

一般で離転職を繰り返され、就労継続が難しく、そこから病院での検査、手帳の取得、障害年金の申請、障害者雇用での求職活動など、全般的な生活面の多岐にわたる支援を行い、労力と時間がかかるケースもあった。

2. 障がい者に対する支援の実施状況

(1) 支援対象障がい者に対する相談・支援件数（手段別）（件）

		(R3)
センターへの来所（本人のほか、家族等も含む）	318	391
電話・Fax・e-mail（本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含む）	911	1,232
職場訪問（定着支援のほか、職場実習支援を含む）	214	244
家庭・入所施設への訪問	71	73
その他（ハローワーク等への同行、企業・施設見学同行、ケース会議への参加等）	192	186
	1,706	2,126

(2) 支援対象障がい者に対する相談・支援件数（内容別）（件）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R3)
就職に向けた相談・支援	66	163	285	45	559	620
職場定着に向けた相談・支援	26	279	454	70	829	915
日常生活、社会生活に関する相談・支援	2	68	65	3	138	370
就業と生活の両方にわたる相談・支援	1	58	100	21	180	221
合計	95	568	904	139	1,706	2,126

<相談・支援の状況>

すでに就労している方からの職場での人間関係や仕事内容、働き方など、働き続けることについての相談や、また退職や転職等に向けての相談が多く、ご本人と企業との間に立って何度もやり取りが必要となることが多かった。

(3) 職場実習等のあっせん件数（件）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R3)
職業準備支援	0	0	0	0	0	0
職場実習	0	5	13	0	18	17
合計	0	5	13	0	18	17

<職場実習支援の状況>

年度当初、ケース検討会であがっていたが、ご本人の調子や状況変化、また受け入れ企業の状況などで実習ができなくなるようなケースがあった。

(4) 就職状況

①就職件数（件）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R3)
一般（30時間以上）	0	2	4	0	6	12
短時間①（20時間以上30時間未満）	1	0	1	0	2	4
短時間②（20時間未満）	0	1	3	0	4	3
合計	1	3	8	0	12	19

※その他、就労継続支援事業A型への就職件数：0件（R3：0件）

②就職先産業別件数（件）

農林漁業	1
製造業	2
小売業	1
生活関連サービス業	5
医療・福祉	2
公務	1
合計	12

③職業別件数（件）

専門的・技術的職業	2
事務的職業	1
サービスの職業	2
農林漁業の職業	1
生産工程の職業	2
運搬・清掃・包装等の職業	3
販売の職業	1
合計	12

<就職支援の状況>

コロナ禍以降、製造業の求人数は少なくなっていたが、徐々に回復し動きが出始めている。その他、相談はされていたが、ご自身で公務や介護関係で就職された方もいた。

(5) 職場定着支援の実施状況

①職場訪問による職場定着支援件数：109件（R3：142件）

②令和3年度中に就職した者（雇用契約等により1年以内に離職することが明白な者を除く）の、就職後1年経過時点の職場定着率

A. 令和3年4月～令和4年3月までの就職件数（雇用契約等により1年以内に離職することが明白な者を除く）（件）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
一般（30時間以上）	0	4	7	1	12
短時間①（20時間以上30時間未満）	0	1	2	1	4
短時間②（20時間未満）	0	0	3	0	3
合計	0	5	12	2	19

B. Aのうち就職後1年経過時点での在職者数（人）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
合計	0	4	9	2	15

C. 1年経過時点の定着率（B/A）

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計	(R3)
合計	-	80%	75%	100%	78.9%	75%

<職場定着支援の状況>

職場での人間関係やご本人の不調により、退職に至るケースがあった。退職に至るまで何度も企業とやり取りするケースや公務で就職された方については、直接支援できないためハローワークを通してやり取りするケースなどもあった。

3. 事業主に対する相談・支援の実施状況

(1) 相談・支援を行った事業所数：70所（R3：82事業所）

(2) 相談・支援件数（手段別）（件）

		(R3)
①センターへの来所	11	11
②電話（FAX、e-mail等を含む）	296	438
③企業訪問（職場開拓、職場定着支援、雇用啓発等を含む）	202	254
④その他（ケース会議等を通じた支援）	0	6
合計	509	709

(3) 相談・支援件数（内容別）（件）

		(R3)
①雇入れに関する相談・支援	137	117
②雇用する障がい者の職場適応・職場定着に関する相談・支援	278	442
③雇用する障がい者の生活面に関する相談・支援	5	28
④障がい者の雇用支援制度に関する相談・支援	0	3
⑤その他（職場体験実習に関すること等）	89	119
合計	509	709

<事業主に対する相談・支援の状況>

企業から雇い入れのお話を頂くことが何件かあったが、企業と求職者のマッチングが合わず、向けることが難しいことが何件かあった。

4. 関係機関との連携状況等

(1) 他支援機関に対する相談・支援件数（就労支援に関する一般的な相談への対応や、他機関が主催するセンター登録外のケース会議への出席等）：57

(2) センター登録者への個別支援において、関係機関と連携を図った件数（ケース会議や打ち合わせ、他機関への支援依頼等）：834

<関係機関との連携状況>

生活支援機関、医療機関、教育機関等、様々な関係者と連携を図りながら支援にあたった。

## 令和4年度 地域活動支援センターパレット 事業報告

(地域活動支援センターI型事業・機能強化事業、地域生活支援事業、手話通訳者設置事業)

### 1. 総括

- (1) 地域活動支援センターI型事業を実施した。主に精神、知的、発達、高次脳機能に障がいのある方や引きこもり等により、社会参加ができていない方を対象に、憩いの場の提供、創作活動や生産活動等の機会の提供、自主活動支援(余暇活動)、地域交流活動の場を提供した。また、機能強化事業を受託し、専門職員を配置すると共に週末も開所し、平日は就労あるいは福祉サービス事業所等に通所している方の地域交流、活動の場を提供した。また、当事者団体の自主活動を支援した他、ボランティア育成に取り組んだ。
- (2) 地域生活支援事業を実施した。身体、知的、精神、発達、高次脳機能に障がいのある方や引きこもりの方を対象に社会生活トレーニング、自主活動支援(余暇活動)、仲間づくりや地域住民への啓発活動、広域的な地域交流事業を実施した。また、聴覚に障がいのある方を対象に手話通訳者派遣、手話・要約筆記奉仕員派遣、手話奉仕員養成に取り組んだ。
- (3) 手話通訳者設置事業を実施した。聴覚障がいのある方を対象に手話通訳者派遣事業、手話・要約筆記奉仕員派遣事業、手話奉仕員養成事業を円滑に進めるとともに日常生活の便宜を図った。
- (4) 令和2年度・3年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事等の中止や延期をしながら事業を行った。

### 2. 開所日及び週末開所

年間を通して週末も開所し、平日は就労、福祉サービス事業所等に通所している方、医療機関に通院している方も当事者活動に参加できるようにした。サロンでのピア活動やテーマを設定した活動の機会を設け、当事者のエンパワメント、リカバリーを支援した。

開所日 290日	開所率 79.5%
----------	-----------

開所日：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時	日曜日 午前9時30分～午後4時
休所日：土曜日、第5日曜日、祝祭日、12月29日～1月3日	

### 3. 市町別利用者数

国内での新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり利用者数は減少した。

	雲南市	奥出雲町	飯南町	その他市町	計
実利用者数	119人	11人	8人	5人	143人
延利用者数	6,555人	1日当り利用者数	22.6人		

### 4. 地域活動支援センターI型事業・機能強化事業

#### (1) 日常生活支援

一人で自由に過ごしたり、仲間同士で語り合ったりできる憩いの場(ピアサロン)を提供した。他者との関わり方や情動、ストレスへの対処、マナーやルール、金銭管理、食生活等で相談や援助が必要な方には職員が関わり、日常生活が安心して送れるよう支援した。また、病状や生活経験不足などで自宅での入浴や洗濯ができていない方に浴室や洗濯機・乾燥機を提供したが、利用者は入浴サービスのみだった。

ピアサロン、ピアカウンセリング	4,079人
入浴サービス	6人
洗濯サービス	0人

(2) 生産活動

「自分のペースでゆっくり働きたい」、「障害福祉サービス利用までの準備期間として作業を経験したい」などという方を対象に軽作業の場を提供し、社会参加の促進を支援した。個別の目的に沿った作業への取り組みや体調等に応じた作業ができるよう支援をした。

軽作業(毎週火・水・木曜日 10時～12時実施)	147回	174人
--------------------------	------	------

(3) 自主活動支援

創作活動、パレットタイム、パレットシアター、カラオケの日など利用者の余暇活動、自主活動への意欲につながるよう利用者のニーズを考慮し、企画、実施した。また、体力、健康の増進、気分転換などを目的に軽スポーツ活動も実施した。その他、テレビ、パソコン、本、マンガなどを設置し、個人で過ごすことができるようにした。さらに利用者が多様な考え方を出し合い、分かち合うピア(仲間)サポートの場として利用者ミーティング(茶話会)を実施した。また、年1回ずつ奥出雲町、飯南町での出張支援センターを実施した。

創作活動、パレットタイム	12回	47人
スポーツ活動(軽スポーツ、卓球)	34回	133人
文化活動(カラオケ、シアター、社会研修)	28回	63人
利用者ミーティング(茶話会)	4回	21人
出張支援センター	2回	14人

(4) 地域交流活動

地域の講師や地域のボランティアを招き、茶道、書道、絵手紙教室、食事会などを実施した。講師やボランティアから作法や調理の仕方等を教えてもらうことを通して楽しく会話をするなど交流することができた。

茶道教室、書道教室、絵手紙教室	11回	46人
食事会、カレーの日	23回	460人
雲南人権擁護委員との交流活動	2回	13人

(5) 当事者団体への支援

当事者会サークル雲南、雲南障がい者スポーツ協会の事務局として、より充実した当事者活動になるよう支援を行った。サークル雲南では、雲南地域在住の当事者の様々な活動を通じた社会参加と地域生活での充実を支援した。スポーツ協会では、グラウンドゴルフ大会、スポーツ大会(3年ぶり)、ニュースポーツ大会(4年ぶり)を感染防止対策を行いながら実施した。

団体名	内容	実施回数	参加者数
当事者会サークル雲南	ミーティング、例会等	28回	249人
	ボランティア活動	6回	55人
	スポーツ活動	30回	258人
	たよりの発行	14回	350人



	会議への出席	3回	3人
雲南障がい者スポーツ協会	雲南障がい者グラウンドゴルフ大会	1回	61人
	雲南障がい者スポーツ大会	1回	75人
	雲南障がい者ニュースポーツ大会	1回	71人

(6) 地域交流、啓発活動

毎年、当事者、家族、ボランティア、地域住民、関係機関と協働し、障がいへの理解促進、啓発活動と活動を通じた当事者のエンパワメントを図ることを目的に地域交流活動を実施しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染防止を考慮し、雲南地域当事者交流会は中止とした。

(7) ボランティア育成・連携（センター主催活動への参加・支援）

地域ボランティアと連携を図り、食事会などを通じた当事者との交流の機会を設け、障がいに対する理解促進、啓発を行った。ただし、新型コロナウイルス感染防止を考慮し、雲南地域当事者交流会は、中止した。

内容	実施回数	参加者数
食事会、カレーの日、絵手紙教室	25回	51人
出張ピアサロン、視覚交流会	9回	23人
雲南人権擁護委員との交流活動	2回	4人
雲南地域スポーツ大会	1回	2人

5. 地域生活支援事業

(1) 社会生活力トレーニング

主に精神障がいのある方を対象に、パソコンに触れ、慣れ親しむ体験の場を月1回提供した。また、重度身体障がいのため外出が困難な方を対象とした訪問パソコン教室を実施した。

パソコン体験教室	50時間	50人
訪問パソコン教室	79時間	79人

(2) 手話通訳者派遣、手話・要約筆記奉仕員派遣、手話奉仕員養成講習会等

聴覚等に障がいがある方のためにコミュニケーションが円滑にできるよう、コーディネート支援を行い、当事者支援をした。さらに、手話奉仕員養成講習会（基礎講座）を開設や手話奉仕員、要約筆記奉仕員等のフォローアップ研修会、手話体験教室を行い、地域啓発と理解促進を行った。

コミュニケーション支援依頼	76件
手話通訳者派遣	57人
手話奉仕員派遣	18人
要約筆記奉仕員派遣	4人
盲ろう者通訳介助員派遣	17件

手話奉仕員養成講座(入門)	講座 21回(受講生 14人)	231人
手話奉仕員研修会	4回	54人
要約筆記者等研修会	1回	4人
手話体験教室(雲南市、奥出雲町)	2回	20人

(3) 出張ピアサロン、視覚障がい者の外出支援

各地域に出向き、当事者の交流活動を開催し、余暇活動や仲間作り、情報交換の場を設けた。

内容	場所	内容	回数	参加者数
出張ピアサロン	雲南市	アルコールインクアート、陶芸体験、健康体操教室、正月飾り作り教室	5回	47人
	奥出雲町	ミニ遠足	1回	13人
	飯南町	レザークラフト体験	1回	6人
視覚障がい者外出支援	交流活動(雲南市)	交流会、遠足	2回	16人

(4) 広域的な地域交流・研修事業や啓発活動の実施

毎年、広域的な地域交流活動を開催し、当事者、家族、ボランティア、地域住民、関係機関との協働や障がいへの理解促進・啓発活動と活動を通じた当事者のエンパワメントの向上を図っているが、今年度は、新型コロナウイルス感染防止を考慮し、ふれあいまつりは中止とした。

内容	実施回数	参加者数
精神障がいのある方の家族交流会	1回	9人
家族研修会（こころのフォーラム2022）	1回	36人
雲南地域スポーツ大会	1回	26人
そよかぜだより発行	2回	

6. 手話通訳者設置事業

聴覚に障がいのある方の通訳、相談、コーディネートを行うとともに手話通訳者派遣事業、手話・要約筆記奉仕員派遣事業、手話奉仕員養成事業が円滑に進むよう日常生活の便宜を図った。

通訳	289件
相談	753件

外部からの手話指導依頼	依頼	10件
	当事者講師	7人
	通訳者	12人